

津島市橋梁長寿命化修繕計画



無名橋 A-304

令和5年1月	策定
令和5年4月	改定
令和6年2月	改定
令和7年4月	改定

④ 津島市 まちづくり推進部 都市整備課

目 次

1	長寿命化修繕計画の目的.....	1
	(1) 背景	1
	(2) 目的	1
2	長寿命化修繕計画の対象橋梁（対象橋梁の概況）.....	2
	(1) 計画対象の橋梁数.....	2
	(2) 橋梁の構成	2
	(3) 橋梁の年齢	3
	(4) 橋梁の健全度	4
	(5) 修繕措置の着手状況.....	4
3	計画期間	5
4	対策の優先順位の考え方.....	5
5	新技術の活用方針.....	5
6	費用の縮減に関する具体的な方針.....	5
	(1) 新技術の活用について.....	5
	(2) 橋梁の集約化・撤去について.....	5
7	長寿命化修繕計画対象橋梁一覧.....	5

1 長寿命化修繕計画の目的

(1) 背景

国土交通省では、地方自治体が管理している13万箇所を超える道路橋の老朽化等に伴う損傷の早期発見とその補修を行うため、平成19年度に「長寿命化修繕計画策定事業費補助制度」を創設した。この制度は「長寿命化修繕計画」の策定に要する費用の一部を国が補助するもので、これまでの事後的な修繕・架替えから、今後は予防的修繕および計画的架替えへと政策転換を促すことを目的としている。

全国的に見て、建設後相当の期間を経過した橋梁を含む社会資本は増大する傾向にあり、老朽化に伴う障害事例が見られる。

愛知県においても、平成27年3月に「愛知県公共施設等総合管理計画」を策定し、施設類型ごとの長寿命化計画（個別施設計画）の策定方針に対応するための道路部門の計画として位置づけ、道路構造物を計画的に修繕するメンテナンスサイクルの核としている。

津島市の橋梁は、高度成長期以降に整備されたものが多く、今後、高齢化の進行が予想される。こうした状況の下、今までのような事後的な修繕および架替えでは更新コストが増大し、市の財政状況が厳しくなり社会資本関連の予算が削減されつつある昨今の状況では、適切な維持管理の継続に振り分ける予算の確保が困難となる可能性があるため、計画的な点検、診断、修繕を行うことによって修繕費等を縮減・平準化する合理的なメンテナンスマネジメントの確率が急務となっている。

(2) 目的

上記の背景のもと、今後急速に増大する高齢化した橋梁の維持管理に対応するため、従来型の事後的な修繕・架替えから予防的な修繕・計画的な架替えへと円滑な政策転換を図る必要がある。

このため、橋梁の長寿命化及び橋梁の修繕・架替えにかかるコストの縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とした。

2 長寿命化修繕計画の対象橋梁（対象橋梁の概況）

(1) 計画対象の橋梁数

津島市が管理するすべての橋梁（460 橋）について、長寿命化修繕計画の対象とする。

(2) 橋梁の構成

長寿命化修繕計画対象橋梁 460 橋の橋種別橋梁割合は以下のとおりであり、RC 橋が 85.43%を占め、鋼橋が 1.74%、PC 橋が 12.83%となっている。

表 2.1 橋種別の橋梁数

橋種	橋梁数	総橋長
鋼橋	8 橋	240.50m
RC 橋	393 橋	1363.25m
PC 橋	59 橋	656.63m
計	460 橋	2260.38m

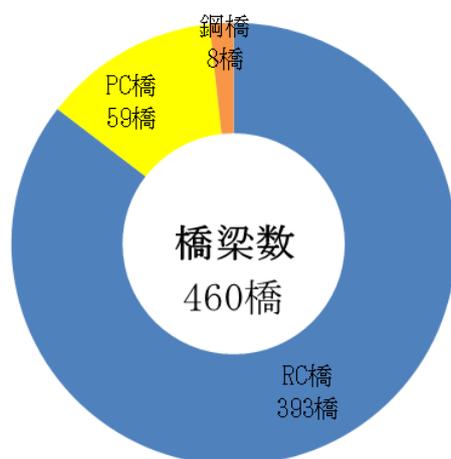
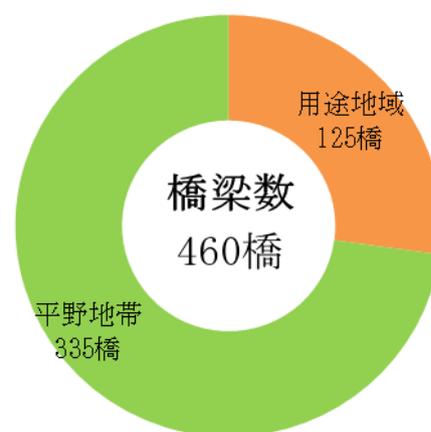


図 2.1 橋種別の橋梁割合



※用途地域：津島市都市計画図に記載された工業地域等

図 2.2 大気環境別の橋梁割合

(3) 橋梁の年齢

橋梁個別施設計画対象橋梁の供用開始年次別橋梁数は下図のとおりである。現時点で、架設後50年以上経過した橋梁が22橋(4.8%)であり、10年後には33橋(7.2%)、20年後には48橋(10.4%)となる。

ただし、375橋(81.5%)については架設年次が不明である。

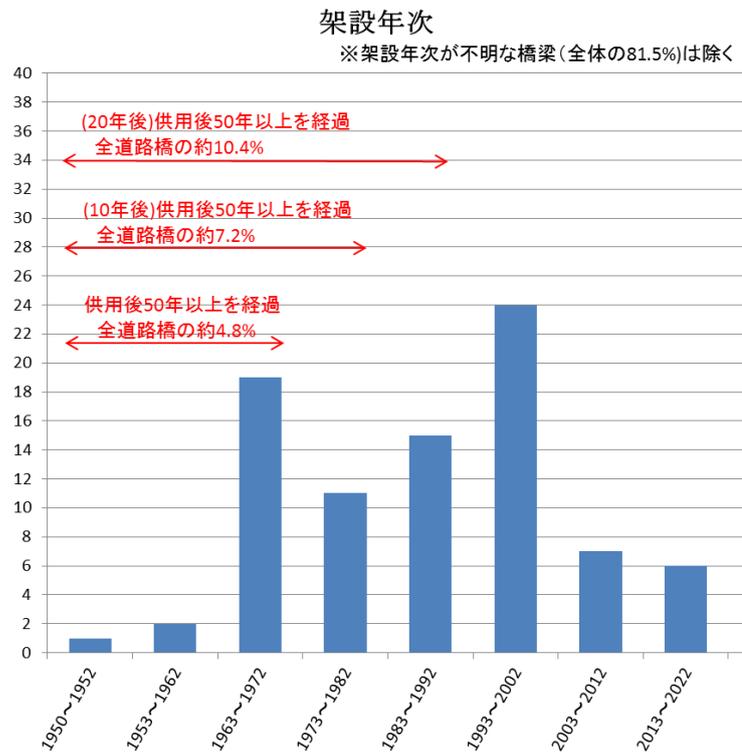


図 2.3 架設年度別の橋梁数

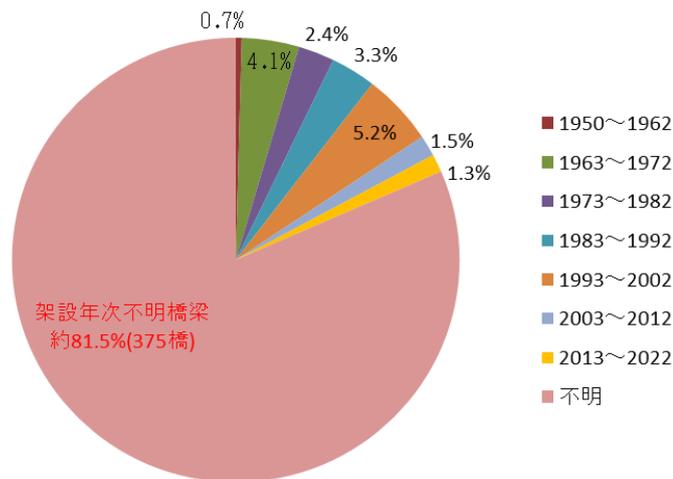


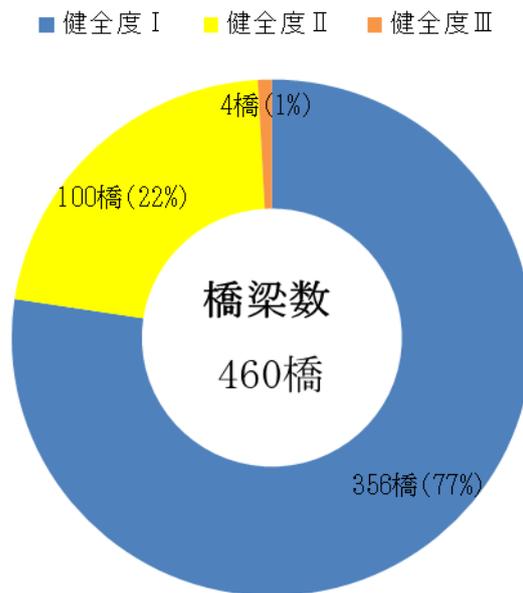
図 2.4 現在の年齢別橋梁割合

(4) 橋梁の健全度

津島市が管理を行い、本計画の対象となっている橋梁 460 橋の点検結果は、ページのとおりとなっている。

橋梁 460 橋の健全度の割合については以下のとおりであり、健全度Ⅰが 77%、健全度Ⅱが 22%、健全度Ⅲが 1%となっている。

今後も、橋梁における対策については、各橋梁の状況等を把握したうえで、経済性を考慮し、更新又は補修等の措置を行う予定である。なお、修繕計画等については、点検結果や予算措置状況に応じて、見直すことがある。



令和 7 年 3 月時点

(5) 修繕措置の着手状況

Ⅲ判定施設の着手状況

(2 巡目及び 3 巡目点検)

着手予定年度	施設名称	対策費用	措置内容	着手状況
令和 6 年度	無名橋 F-431	1,333,200 円	断面修復工	R6 実施済
令和 8 年度	無名橋 1-11	2,400,000 円	断面修復工	未着手
令和 8 年度	無名橋 A-2	3,600,000 円	断面修復工	未着手
令和 8 年度	無名橋 D-310	1,100,000 円	断面修復工	未着手

令和 7 年 3 月時点

3 計画期間

橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁 460 橋に対する計画期間（行動計画）として、今後 10 年間（令和 5 年度から令和 14 年度）とした。

ただし、社会情勢の変化などにより、計画内容の見直しが随時必要となることが想定されるため、計画期間に捉われず、柔軟に計画の見直しを行うものである。

4 対策の優先順位の考え方

対策の優先順位は、橋梁の状態（健全度）を指標とし、これに各橋梁の優先度を加味し、総合的に勘案して判断する。

橋梁の優先度は、各橋梁が本来持つ社会的影響度を、「加味する指標（愛知県構造物長寿命化計画 愛知県建設部道路維持課 平成 27 年 3 月）」をもとに評価を行った。

なお、判定区分Ⅳに対しては、本計画では別途、緊急措置を行う。

5 新技術の活用方針

点検や修繕等において、新技術の活用により将来の維持管理費用のコスト縮減が見込める、あるいは社会的影響が小さくなるなどの事業の効率化が期待できる新技術の活用を図る。

6 費用の縮減に関する具体的な方針

今後の老朽化対策に必要となる費用の縮減を図るために、下記のとおり修繕や点検等に係る新技術の活用や迂回路が存在する橋梁について集約化・撤去の検討を実施する。

(1) 新技術の活用について

3 巡目点検を開始する令和 6 年度までに、津島市が管理する全てについて、修繕や点検等に係る新技術の検討を行うとともに、本市が管理する橋長 15m 以上の 12 橋の橋梁の内、2 橋程度の橋梁で費用に縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術を活用することによって、今後 5 年ごとの点検費用を 10 万円程度削減することを目的とする。

(2) 橋梁の集約化・撤去について

集約化・撤去が可能な橋梁について、令和 6 年度までに 2 橋程度の集約化、撤去を検討し、この結果によって今後 5 年ごとの点検費用を 100 万円程度削減することを目標とする。

7 長寿命化修繕計画対象橋梁一覧

別紙のとおり